



高強度異形鉄筋継手

NMB プライススリーブ SYSTEMS

NXII TYPE

プレキャスト用 モルタル充填式鉄筋継手

NXIIタイプ

日本プライススリーブ株式会社

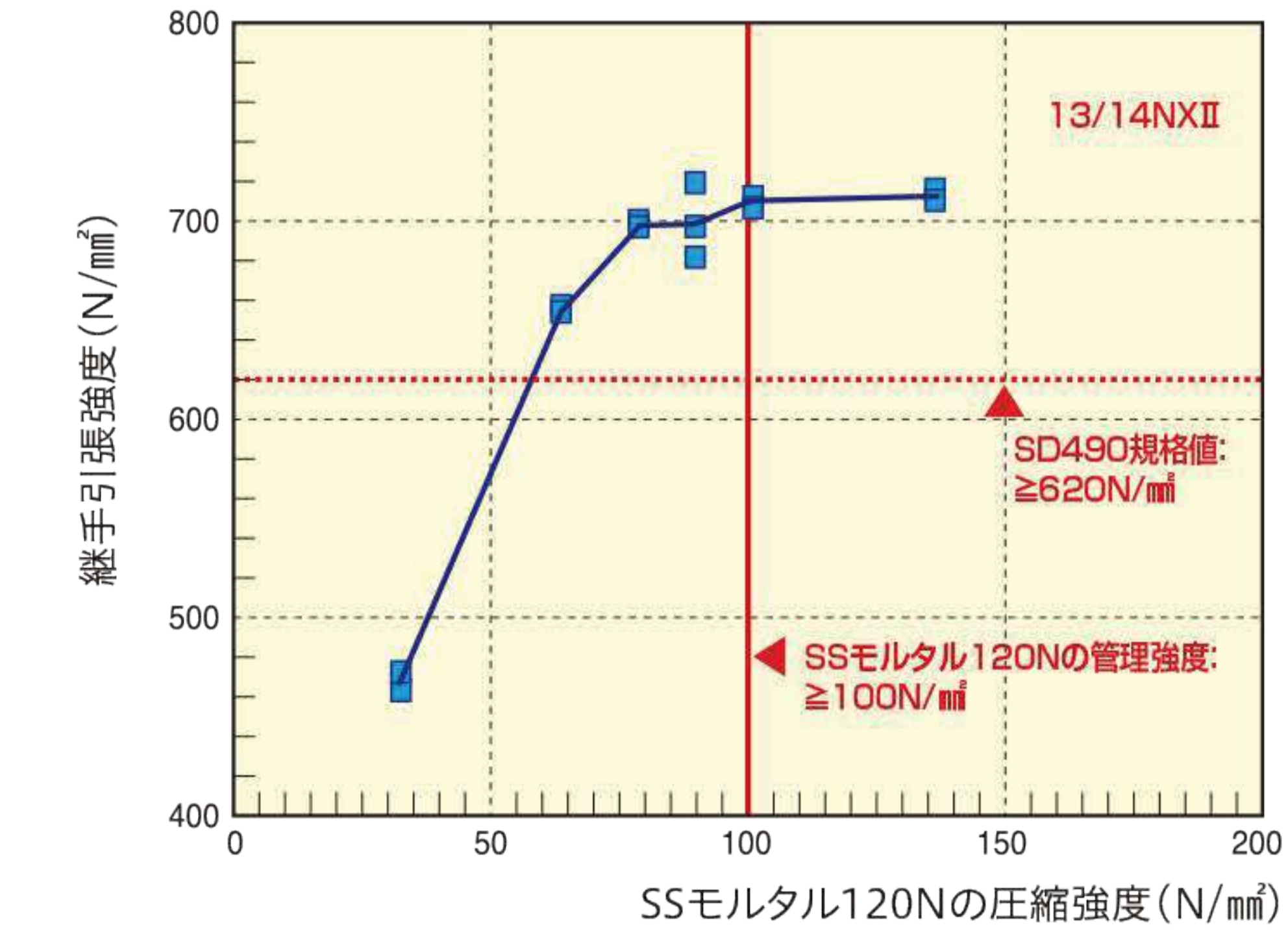
グラウト材

NXIIタイプの性能を最大限に活かす高強度グラウト材「SSモルタル120N」「SSモルタル」

グラウト材の管理項目

管理事項	SSモルタル(15kg/袋)	SSモルタル120N(25kg/袋)
使用水量 (Kg/袋)	2.1~2.3 (標準2.2)	2.65~3.35 (標準3.0)
練混ぜ時間	約2分間	
フロー値 (mm)	155~235	185~285
Ji+ロート値 (秒)	5~15	-
継手部の温度 (°C)	0~60	
可使用時間(練混ぜ後)	約40分	約60分
継手の管理強度 (材齢28日)	円柱供試体	≥70N/mm ² ≥100N/mm ²
	立方供試体	≥77N/mm ² -
製造時基準強度 (材齢28日・20°C)	≥80N/mm ²	≥120N/mm ²

グラウトの圧縮強度と継手強度の関係

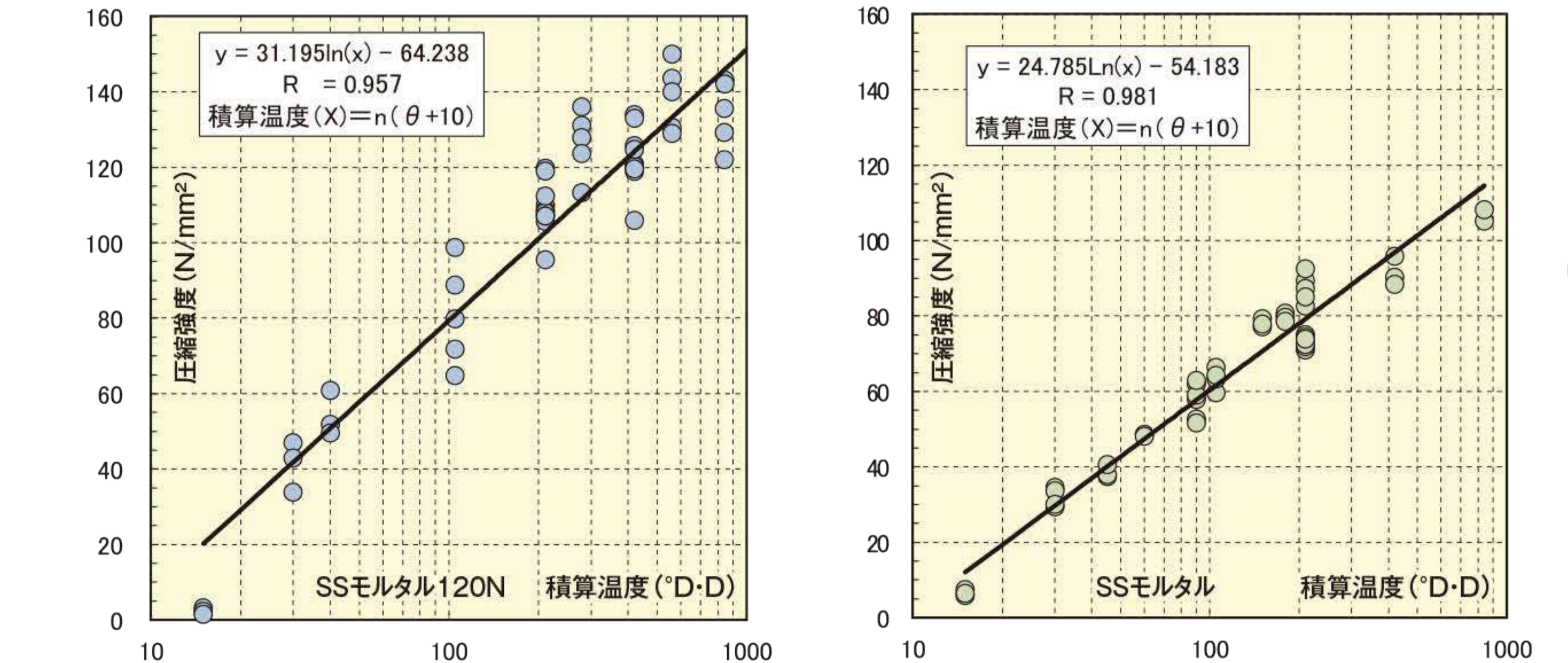


SSモルタル120N及びのSSモルタル試験結果例

充填材	フロー値*1 (mm)	Ji+ロート*2 (秒)	養生温度 (°C)	凝結時間 (時一分)		圧縮強度*3 (N/mm ²)				
				始発	終結	材齢 1日	材齢 3日	材齢 7日	材齢 28日	
SSモルタル 120N	249	-	5	9-55	15-00	4.62	39.0	107	129	
				20	7-00	8-25	37.8	82.7	112	136
				30	6-05	7-00	60.4	93.4	128	144
SSモルタル	205	6.2	5	9-31	13-35	10.1	42.2	56.5	86.3	
				20	4-18	5-55	30.5	55.2	71.1	100
				30	2-23	3-20	49.0	68.5	79.1	101

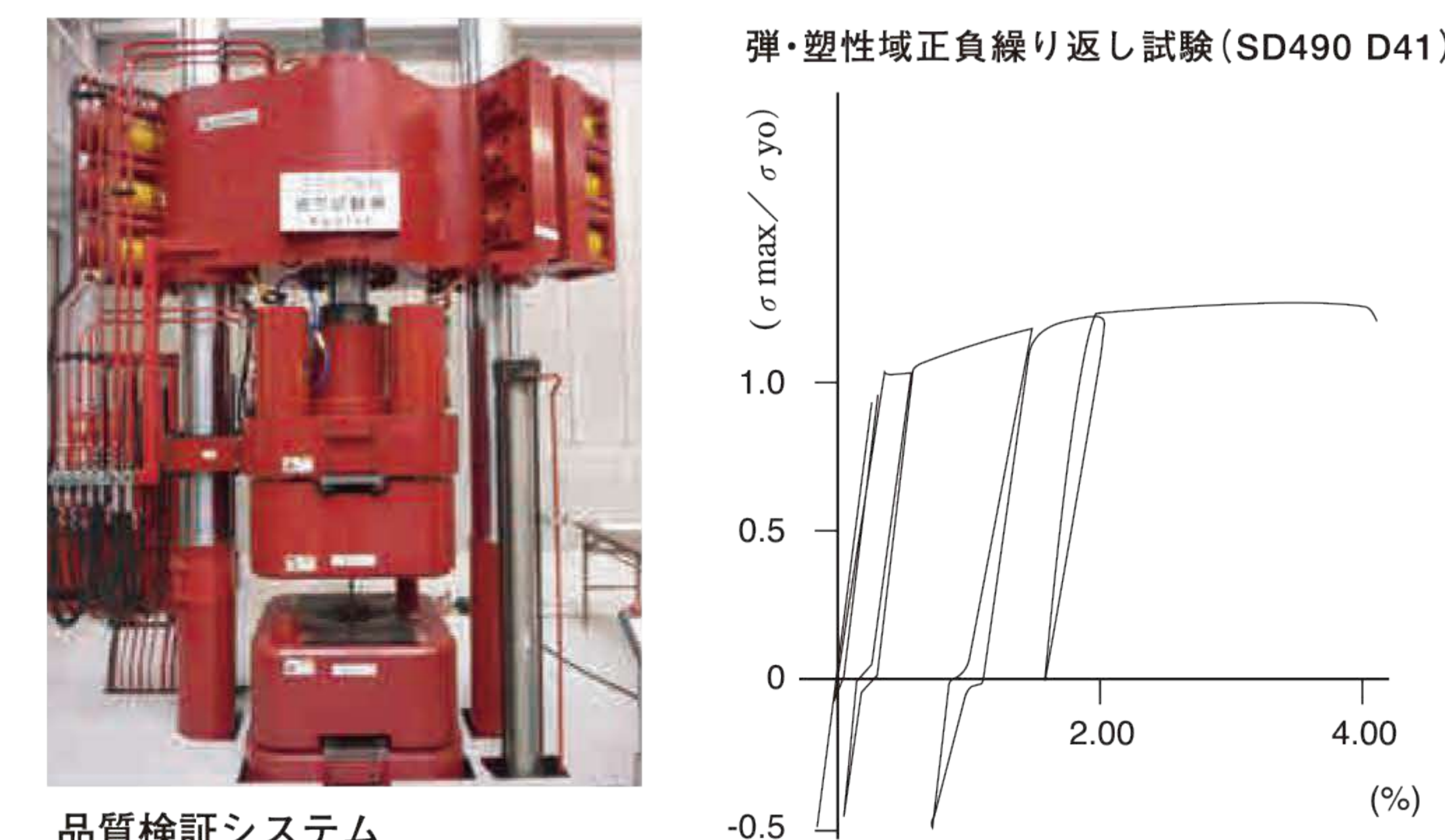
- *1 JASS 15 M-103「セルフレベリング材の品質基準」に定めるフロー試験方法に準じ行うものとし、50(内径)×100mm(高さ)の塩ビパイプを用い300×300mm以上の鋼板又はガラス板の上でフローを測定する。
- *2 土木学会規程に規定するφ70(上端)×φ14(下端)×392mm(高さ)のロートを用いた充填モルタルの流動性試験方法(JSCE-F541)による。
- *3 JIS A 1132「コンクリートの強度試験用供試体の作り方」(供試体寸法 φ50×100mm(高さ)およびJIS A 1108「コンクリートの圧縮強度試験方法」による。

グラウトの積算温度と圧縮強度の関係



試験データ

当社が誇る充実した検証システムから「信頼」の継手は生まれます。



品質検証システム (ニスコテクニカルセンター) 充実した品質試験によりさまざまなデータが入手可能です。

計算方法に対する継手の使用の可否

計算方法	使用箇所	部材種別	A級継手		
			全数継手	半数継手	
ルート① [2X][2Z] 又は壁式構造	a	大ばりの中央域の主筋 小ばりの主筋及びスラブの引張り鉄筋	○	○	
	b	柱とばりの材端域の主筋 壁ばりの主筋及び1階の耐力壁脚部の鉄筋	○	○	
	c	その他の鉄筋	○	○	
ルート②	a	大ばりの中央域の主筋 小ばりの主筋及び引張り鉄筋	○	○	
		FA	↓	↓	
	b	前震設計上、降伏ヒンジが形成される材端域の主筋及び1階の耐力壁脚部の鉄筋	FB	○	○
			FC	○	○
			FD	○	○
			WA, WB	○	○
			WC, WD	○	○
			FA	○	○
	c	上記以外の材端域の主筋	FB	○	○
			FC	○	○
			FD	○	○
			WA, WB	○	○
d	その他の鉄筋	FA	○	○	
		FB	○	○	
		FC	○	○	
		FD	○	○	
		WA, WB	○	○	
		WC, WD	○	○	

表中の↓は、○印のついている下位の部材種別と仮定して計算してある場合には、該当継手を使用して下さいを示す。
建物の設計方法と継手の使用箇所の可否は、「2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書」の鉄筋継手性能判定基準2.鉄筋継手使用基準の表1及び表2のA級によるものとする。

ニスコテックグループ

日本プライススリーブ株式会社

本社
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町17-1 箱崎リージェントビル2階
TEL:03-5642-6120(代) / FAX:03-5642-6150

大阪営業所
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-7-7 平野町インカワビル3階
TEL:06-6222-1321 / FAX:06-6222-1330

ニスコテクニカルセンター
〒271-0065 千葉県松戸市南花島字向町313-5
TEL:047-308-3681(代) / FAX:047-308-3682

(関連会社) ※ISO認証対象外
ニスコテック株式会社
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町17-1 箱崎リージェントビル2階
TEL:03-5642-3313(代) / FAX:03-5642-6150

ニスコWEST株式会社
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4-7-7 平野町インカワビル3階
TEL:06-6203-5588

SPLICE SLEEVE NORTH AMERICA, INC.
38777 West Six Mile Road, Suite 205 Livonia, MI 48152 U.S.A.
Phone: 1-734-838-0420 / Fax: 1-734-838-0422

SPLICE SLEEVE(S) PTE LTD.
601 Sims Drive #01-06 Pan-I Complex Singapore 387382
Phone: 65-6738-3655 / Fax: 65-6738-5019

<https://www.splice.co.jp>



プレキャスト工法に最適のスーパーUXを
更に細く短くした

NXIIタイプ

継手を細く短くし、施工性能がさらにUP

従来型スーパーUXに比べ、広口内径はそのままに外径を細く(D41用で-3mm)、短く(D41用で-100mm)しました!現場での施工性はもちろん、収まりが良くなり、さらなるコストパフォーマンスを提供します。

安心・安全はそのままに。A級認定の確かな品質

(一財)日本建築センターよりA級継手としての認定を取得。
(BCJ評定-RC0274-05)
コンパクト化を実現しながら、JISに適合する全ての鉄筋及び大臣認定品に対応した高い安全性と品質を持つ信頼ある継手です。

目的に応じたグラウトの使い分けが可能

超高強度モルタル「SSモルタル120N」と施工性抜群の「SSモルタル」の2つのモルタルを用意。使用目的によって使い分けが可能となりました。

グラウト材
SSモルタル
NXIIタイプの性能を確実に発揮させる施工性抜群の専用グラウト材

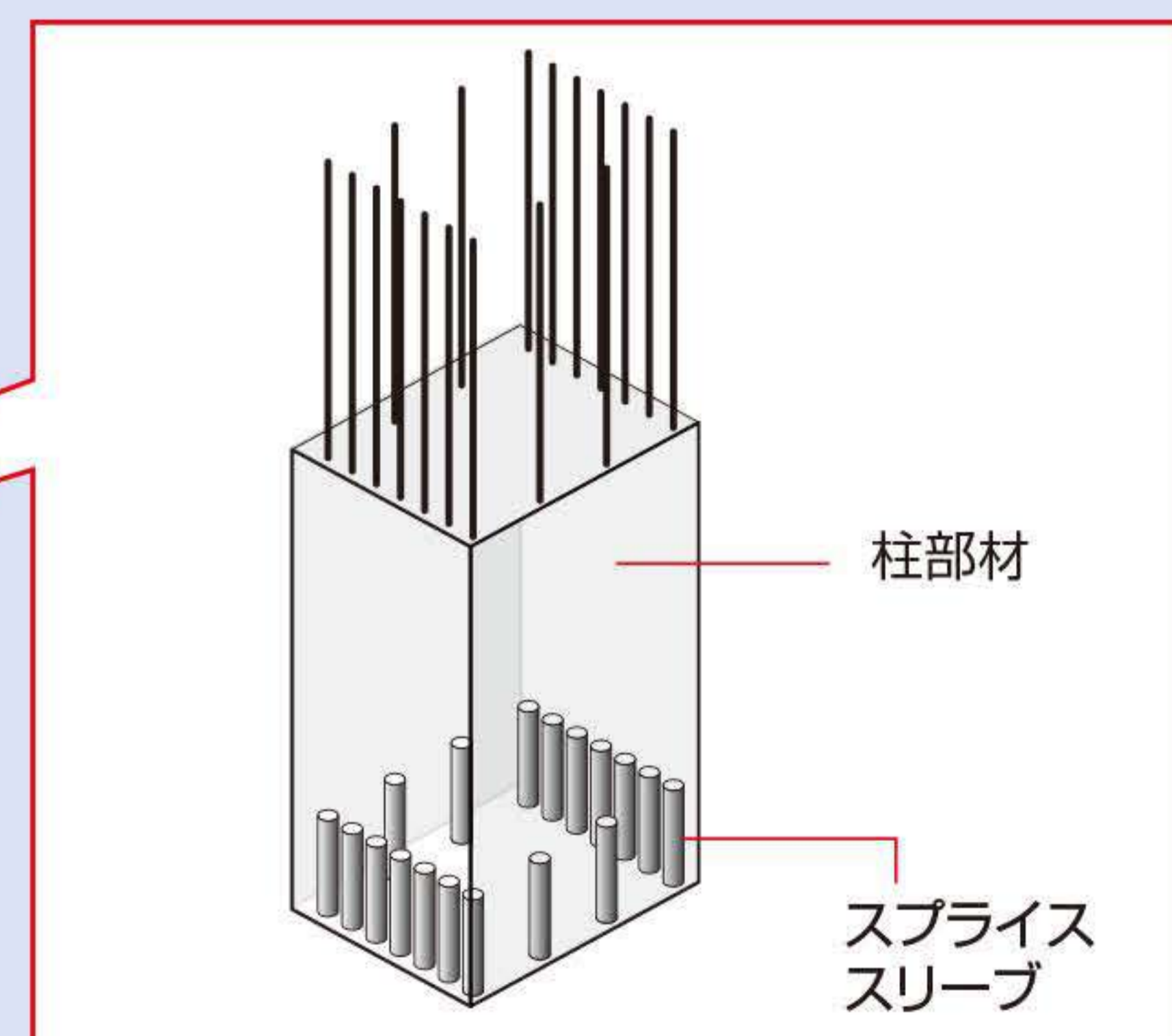


SSモルタル 120N



SSモルタル

柱部材 プレキャスト(PCa)工法での使用例



■ 建込



■ 柱部材の製造



■ スリーブセッター



名称・寸法・グラウト量目安

■ NXIIタイプ

SSモルタル 120N SSモルタル

スリーブ呼び名	接合鉄筋	スリーブ長さ(mm)	スリーブ径(mm)			注入口位置(C)(mm)	排出口位置(D)(mm)	リーバーストップ(RS)位置E(mm)	鉄筋埋込長さ(mm)		グラウト量目安(本/袋)	
			外径(A.a)	内径	狭口(b)				広口側(F1)	狭口側(F2)	SSM120N(25kg袋)	SSM(15kg袋)
5-NXII	D16(D13,D10)	220	44	32	22	47	193	105	80~110	95~105	53	35
6-NXII	D19(D16,D13)	250	48	36	25		223	120	95~125	110~120	41	27
7-NXII	D22(D19,D16)	280	52	40	29		253	135	110~140	125~135	33	22
8-NXII	D25(D22,D19)	310	56	44	31		283	150	125~155	140~150	28	18
9-NXII	D29(D25,D22)	350	60	48	35		323	170	145~175	160~170	22	14
10-NXII	D32(D29,D25)	390	64	51	39		363	190	165~195	180~190	18	12
11-NXII	D35(D32,D29)	430	69	55	44		403	210	185~215	200~210	14	-
12-NXII	D38(D35,D32)	470	75	59	47		443	230	205~235	220~230	12	-
13/14-NXII	D41(D38,D35)	520	79	62	51		493	255	230~260	245~255	10	-
16-NXII	D51(D41,D38)	620	96	74	62		593	305	280~310	295~305	6	-

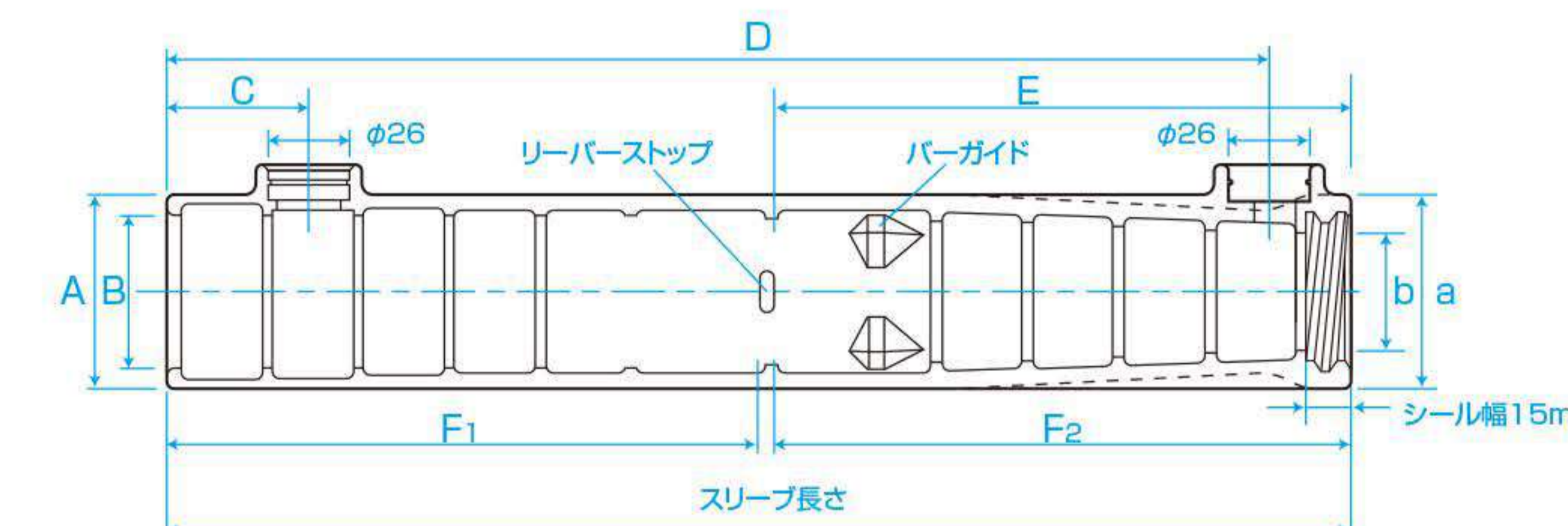
主な用途:プレキャスト超高層・中高層住宅(柱・梁) / オフィスビル / 倉庫 / 病院 / カルバート / 擁壁 等

[注] ()は径違いの接合の鉄筋径を示します。
※カットオフ筋に対応したボルト付きの継手もございますので、詳細はお問い合わせください。

■ 鉄筋種類とスリーブの材質

使用鉄筋	グラウト材種類	SSモルタル120N	SSモルタル
呼び名		SD295~SD490 D10~D51*1	SD295~SD390 D10~D32*1
形状		JIS G 3112に規定する異形棒鋼	
スリーブ材質		FCD800-2	FCD700-2 (FCD450-10)*2
異径間(同鋼種)継手		SD490以下 2径差違い	
異鋼種・異径間継手		SD490以下 1鋼種違い1径差違い SD590鉄筋では1鋼種違い1径差違い(SD490が細い)*3 SD685鉄筋では2鋼種違い1径差違い(SD490が細い)*3	

*1 D10はSD345以下、D13はSD390以下のみ接合可
*2 5-NX IIのみ可
*3 SD590/SD685とSD490を接合する場合は、弊社にお問い合わせください。

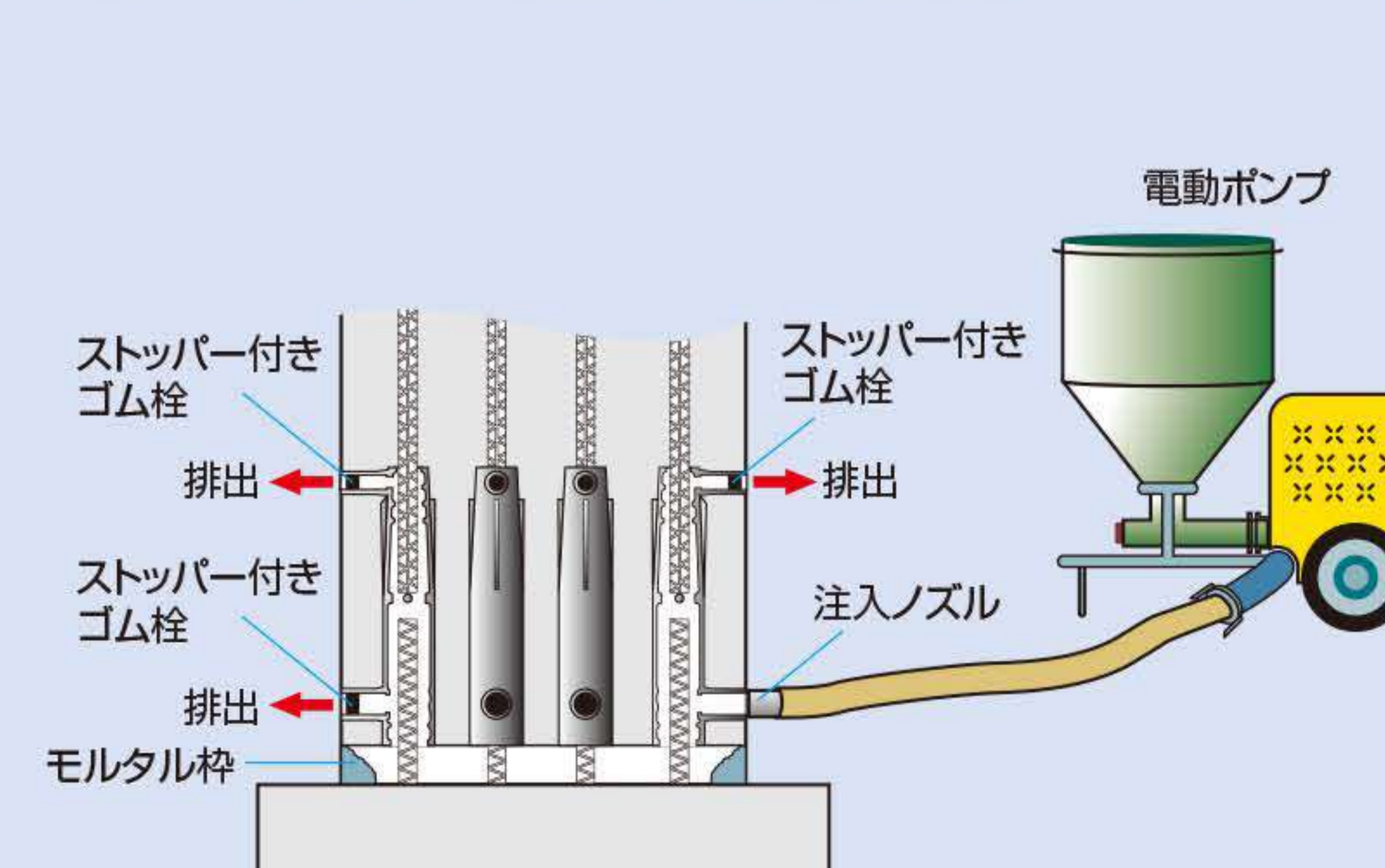


スリーブの断面図

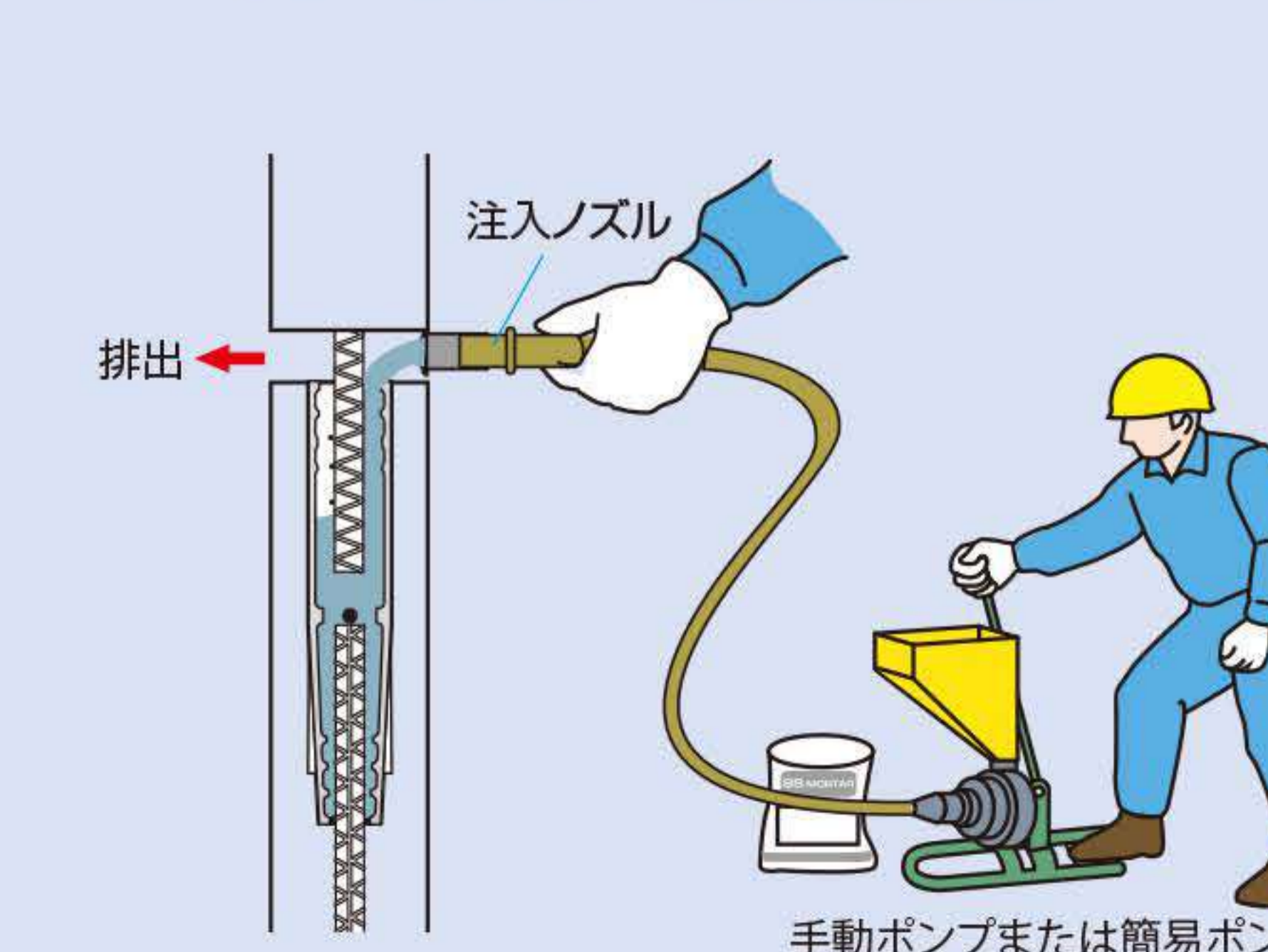
■ 接合鉄筋によるグラウト材の組み合わせ

鉄筋の種類	使用グラウト材	5-NXII	6-NXII	7-NXII	8-NXII	9-NXII	10-NXII	11-NXII	12-NXII	13/14-NXII	16-NXII
SD490以下	SSモルタル120N	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SSモルタル	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
SD390以下	SSモルタル120N	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	SSモルタル	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×

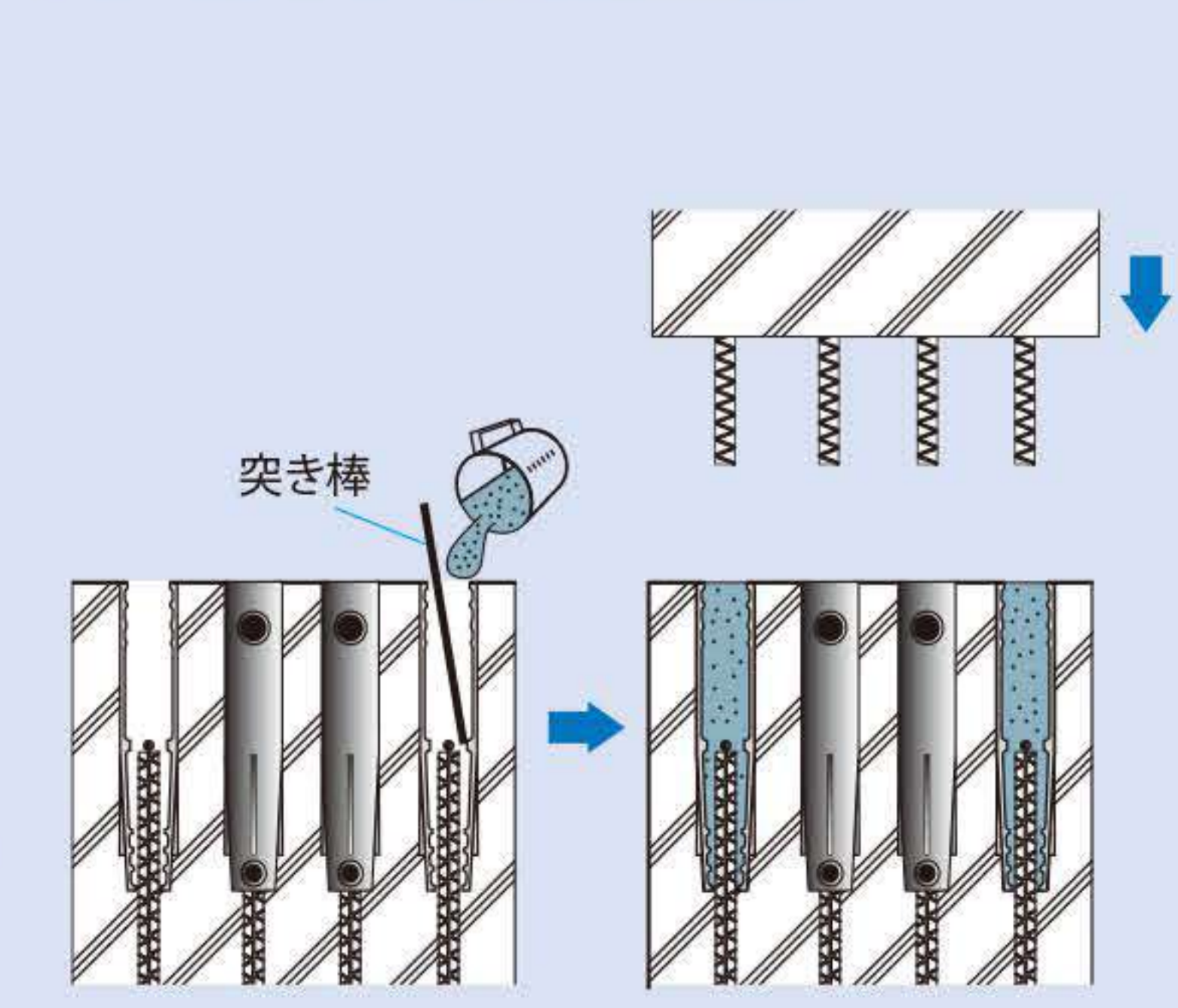
■ ポストグラウトU方式の同時充填施工例



■ ポストグラウトD方式の施工例



■ プレグラウト方式の施工例



※グラウト材はSSモルタル120Nのみ可